



往復：北陸新幹線 秋田新幹線 利用

新高岡駅 ↔ 田沢湖駅

春は森へ息を吐く
色彩爽やかな緑の夏
秋は美しき深みのある山
降り積る雪と静寂の冬

新玉川温泉

日本の山岳リゾート4泊5日 新玉川温泉

湯治のふるさと
“効能溢れる癒しの湯”

湯量・泉質・効能・
自然・温泉文化などの
総合力を体験

一カ所から
湧き出る源泉量
毎分9000Lで
日本一

日本一の
強酸性度
PH1.2

万病に効くとも言われる玉川温泉。温泉の泉質は塩酸を主成分とした強酸性で、肌を刺激し、岩盤浴で細胞機能を活性化し、さらにお客様同士の交流により精神的に癒されるといった効果で元気を取り戻すといわれます。ぜひ、この機会に温泉の効果を試してみませんか！

源泉掛け流し
豊富な湯量と優れた効能

令和二年
＜旅行日＞

5月18日(月)～5月22日(金) 4泊5日

お一人様
＜旅行代金＞

お一人様(2名様以上1室利用料金)
128,000円
*下記、JR新幹線駅からご参加いただけます

＜代金に含むもの＞
4泊10食付き、JR新幹線代、
現地バス代、旅行傷害保険
バスガイドなし、添乗員同行

① 5/18 (月)	JR新高岡駅 08:37 富山駅 08:47 黒部宇奈月温泉駅 09:00 はくたか 556 11:10 11:46 こまち 19 14:07 新玉川温泉(泊) 15:30	朝：× 昼：○ 夕：○
②	大浴場・露天風呂・屋内岩盤浴	朝：○ 昼：× 夕：○
③		朝：○ 昼：× 夕：○
④	 *ご夕食、ご朝食は 美味しいバイキングをご用意！ *ご昼食は食堂にて各自自由食	朝：○ 昼：× 夕：○
⑤ 5/22 (金)	新玉川温泉 10:00 田沢湖駅 12:12 大宮駅 14:38 14:50 はくたか 567 JR黒部宇奈月温泉駅 16:45 富山駅 16:57 新高岡駅 17:07 *日程は、JR・天候・道路状況などにより変更が生じる場合があります。	朝：○ 昼：○ 夕：×

入浴指導や湯治相談を行っております。
館内には、看護師が常駐しております。



お申込み
お問合せは、
(一社)全国旅行業協会正会員 富山県知事登録旅行業 第2-104号 総合旅行業務取扱管理者 鳥山竹史
旅行企画実施
(株)富山県福祉旅行センター 富山チューリップツアー
高岡支店 ☎ 0766-21-4700 富山支店 ☎ 076-433-4700
〒930-0863 高岡市関本町61 〒930-0856 富山市牛島新町3-27(〒以日本海103号)
◆お客様の都合で取消、減員される場合は企画代金に対して当社旅行業約款による取消料を頂きます。



効能あふれる 癒しの 湯治宿

- 一、入浴前には「かけ湯」を行いましょう。
- 一、到着日の入浴は1～2回、翌日以降は1日2～3回を目安にしましょう。
- 一、慣れるまで長湯は禁物。1回3～5分入浴した後は、同時間程度休憩し、これを数回繰り返しましょう。
- 一、湯上がりの際、皮膚が弱い部分の炎症を防ぐために「かけ湯」をして上がりましょう。
- 一、入浴後は水分を補給し30～60分横になって休憩しましょう。
- 一、ムリをせず体調にあわせて湯治をしましょう。

大 浴 場・露天風呂

特に源泉100%はもっとも効果が期待できると言われています。
強酸性日本一を誇る泉質は pH1.2 で、レモンの約 2～2.5 倍もの酸性度になります。
ピリピリと刺激がありますので、初めての方はまず 50%の浴槽からお試ください。

泉質上殺菌力にとっても優れておりますので
3～5 分程度の入浴で十分にその効果が期待できます。

繰り返しご入浴される場合は、3～5 分程度入浴後
同じ程度の時間を休んで 2～3 回、浴槽に浸かりお楽しみください。
ご入浴は、かけ湯かシャワーで温泉を洗い流してからお上がり下さい。

酸性に強いと言われる青森ヒバで造られた大浴場には、14 種類の浴槽がありその日の体調に合わせた入浴方法がご選びいただけます。



1 泉質刺激 による療法 pH1.2の強酸性泉	2 気候刺激 による療法 海拔740mの気圧 森林浴、他	3 入浴による 物理療法 浮力、水圧、 温度、他	4 地熱による 温熱療法 岩盤浴	5 お客様同士 による 精神的ケア 情報交換、 励まし合い、他
----------------------------------	--	--------------------------------------	---------------------------	--



館内の湯治相談室には
看護師が常駐しており
初めての方でも安心して
ご利用いただけるよう
入浴指導や湯治相談を
行っています。
湯治相談は無料です。

<岩盤浴の方法>

地熱のある任意の場所を選び、岩肌の刺激を緩和させるためにゴザを敷いて横になります。この際、枕代わりになるもの（バスタオルや衣類）が必要です。タオルケットや毛布を身体の上にかけて、熱を逃がさないようにしますが、熱いところだと40～50℃にもなる場所がありますので、低温火傷を防ぐためにも、ときおり身体の向きを変えるようにして下さい。（岩盤浴では、加湿・保温による鎮痛効果や新陳代謝の促進が期待できます。）

